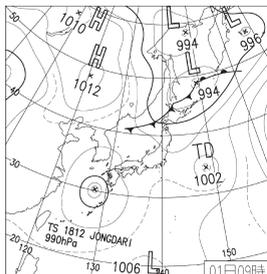


# 日々の天気図

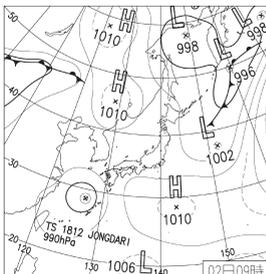
— No. 199

## 2018年 8月

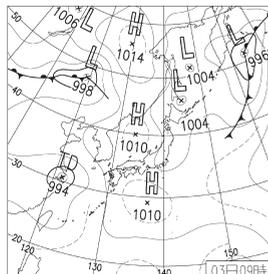
- ・西～東日本で猛暑続き、東海・関東・北陸で最高気温40℃超も。
- ・台風、月間9個発生、日本接近7個は共に統計開始以降3位タイの多き。13～16日、4日連続発生。
- ・23～24日、台風第20号が四国・近畿に上陸、北上、風力発電施設の損壊等強風害や交通障害等発生。  
(気象庁予報部予報課)



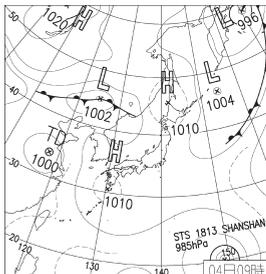
**1日(水) 全国200地点で猛暑日**  
全国的に上空まで気温が高く、仙台の最高気温37.3℃は観測史上1位。京都府舞鶴の最高気温38.6℃は8月1位更新。一方、台風第12号に近い九州や四国では局地的に激しい雨。



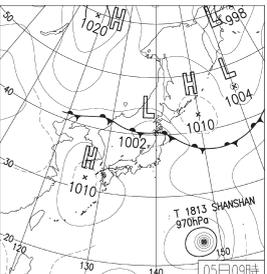
**2日(木) 岐阜県多治見で40.2℃**  
九州から北海道にかけて高気圧に覆われ概ね晴れて気温が上がり東北南部～九州北部の各地で猛暑日。台風第12号が東シナ海で停滞し、九州南部や沖縄・奄美では強い雨も。



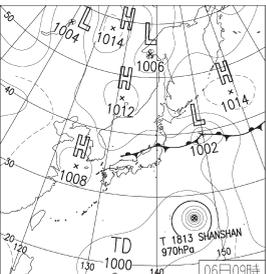
**3日(金) 全国198地点で猛暑日**  
全国的に晴れたが夕立の所も。名古屋の最高気温は観測史上初めて40℃を超え岐阜県美濃と共に40.3℃。南鳥島近海で台風第13号発生。台風第12号は華中に上陸、熱帯低気圧に。



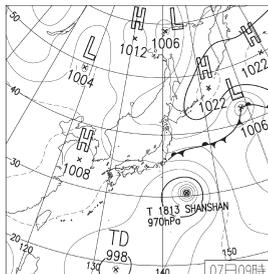
**4日(土) 猛暑続く**  
沖縄から東日本は概ね晴れ、北日本は気圧の谷の影響により所々で雨。岐阜県美濃38.7℃など西日本～東日本で猛暑が続く一方、北日本では最高気温が平年より5℃以上低い所も。



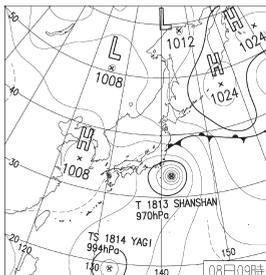
**5日(日) 東北地方で記録的大雨**  
停滞前線がゆっくりと南下。山形県酒田大沢で112.5 mm/1hの記録的短時間大雨。日降水量も山形県金山で302.5 mm。西～東日本は晴れて猛暑日。名古屋で最高気温39.9℃。



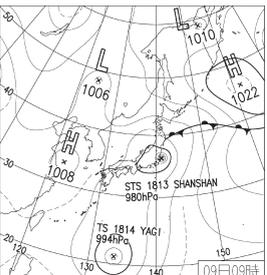
**6日(月) 山形県で記録的大雨**  
前線に近い山形県射折の67.5 mm/1hは、観測史上1位の値を更新。一方、東海以西を中心に晴れて気温上昇。岐阜県金山の41.0℃は、最高気温の観測史上1位の値を更新。



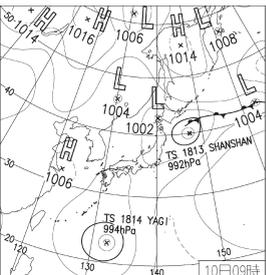
**7日(火) 西日本は猛暑**  
引き続き西日本中心に上空まで気温が高く、松山37.4℃や佐賀市川副37.1℃は最高気温史上1位。東日本以北は湿った空気により曇りや雨。各地で最高気温が平年差-6℃以上。



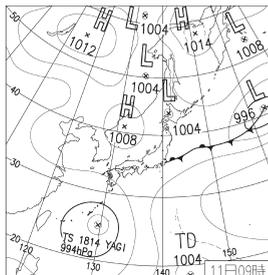
**8日(水) 台風第13号接近**  
台風第13号と前線の影響により関東付近と東北太平洋側は雨。その他の地方は概ね晴れて気温上昇。岐阜県美濃の最高気温41.0℃は観測史上1位。台風第14号発生。



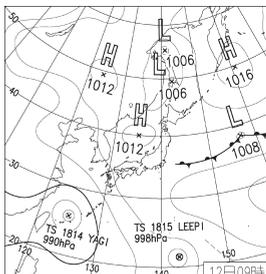
**9日(木) 台風第13号が北上**  
台風は銚子沖～宮城沖を北上。太平洋沿岸の日降水量100 mm程度。千葉県銚子で最大瞬間風速27.5 m/s。北海道は雨。沖縄、九州、東海は晴れ。岐阜県金山と八幡で最高気温38.7℃。



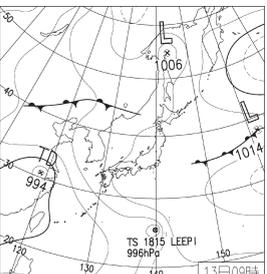
**10日(金) 東日本で猛烈な雨**  
気圧の谷や湿った空気の影響で北日本中心に曇りや雨。午後は大気の状態が不安定となり岐阜・長野・群馬・栃木各県で記録的短時間大雨。長野県白樺湖73.5 mm/1hは観測史上1位。



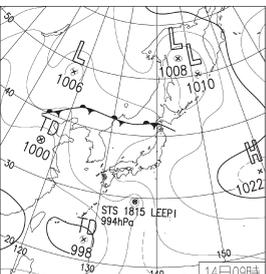
**11日(土) 台風第14号沖縄に接近**  
暖かく湿った空気や前線の影響で、広範囲に大気不安定。宮崎県日向で8月1位更新の50.5 mm/1h。沖縄県志多阿原35℃は史上1位タイ等全国92地点で猛暑日。台風第15号発生。



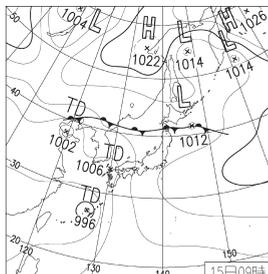
**12日(日) 台風第14号宮古島接近**  
台風は東シナ海へ進む。宮古島市城辺の117.5 mm/1hは史上1位。本州付近は概ね晴れて西日本中心に猛暑の一方、大気の状態が不安定で西～東日本の所々で激しい雨。



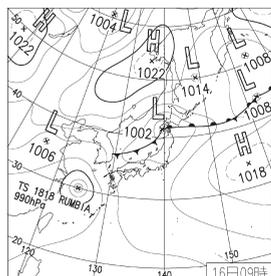
**13日(月) 台風うろろう**  
西～東日本は湿った風の影響により山梨県大月で56.5 mm/1hなど所々で非常に激しい雨。台風第15号は北西進し西日本を窺う。台風第16号発生し、台風第14号は熱帯低気圧に。



**14日(火) 北海道は気温上がらず**  
西～東日本は高気圧に覆われ晴れて気温が上がり各地で猛暑日。大気不安定となり山沿い中心に雷雨。北海道は前線が停滞し曇りや雨で気温も上がらず、最高気温が9月並の所も。

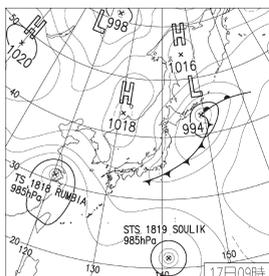


**15日(水) 台風第15号宮崎県上陸**  
台風第18号も発生。台風や湿った空気の影響で沖縄・奄美～東日本は雨。高知県佐川で日降水量245.5 mm。東北～北海道は前線の影響で雨。秋田県阿仁合63.5 mm/1hは8月1位の値。



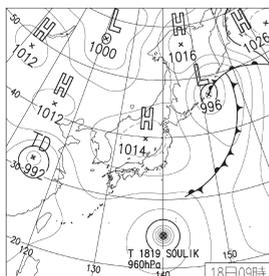
### 16日(木)台風第19号が発生

前線を伴った低気圧が津軽海峡を東進。ほぼ全国的に曇りや雨。高知県佐川は71.5 mm/1hの非常に激しい雨。秋田県阿仁合で史上1位の3時間降水量124 mm等、東北中心に大雨。



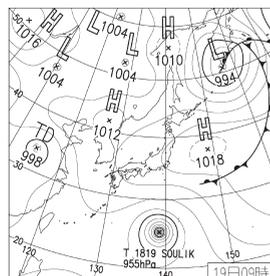
### 17日(金)40日ぶりに猛暑日ゼロ

北からの高気圧に覆われ西～東日本は晴れや曇り。沖縄・奄美は湿った空気の影響で一部で非常に激しい雨。北日本は気圧の谷の影響で曇りや雨。7月8日以来の全国猛暑日ゼロ。



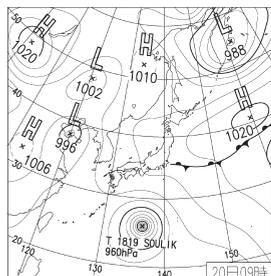
### 18日(土)台風第20号が発生

移動性高気圧に覆われ全国的に晴れ。放射冷却で気温低下。広範囲で最低気温が平年差-6℃以上となり。中国、四国～北海道の125地点で最低気温低い方から8月1位タイか更新。



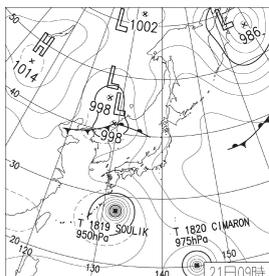
### 19日(日)2日ぶりに再び猛暑日

北日本や九州南部は気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨。その他は高気圧に覆われ概ね晴れ。九州の6地点で猛暑日。一方、北海道では最高気温が10月上旬並の所も。



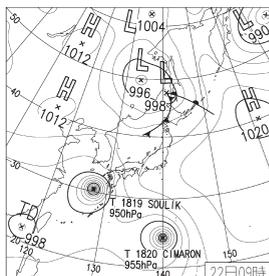
### 20日(月)西日本は猛暑日

台風第19号が日本の南を西北西進。西～東日本太平洋側は湿った空気の影響で曇りや雨。その他は高気圧に覆われて概ね晴れ。北日本や長野県では最低気温が10℃以下の所も。



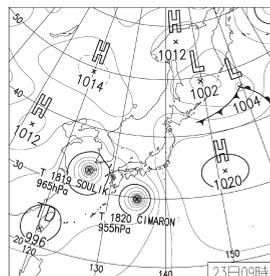
### 21日(火)猛暑ぶり返す

本州付近は太平洋高気圧に覆われ全国127地点で猛暑日。富山県秋ヶ島の37.9℃は史上1位更新。台風第19号に近い鹿児島県喜界島の最大瞬間風速39.6 m/sは8月1位の値更新。



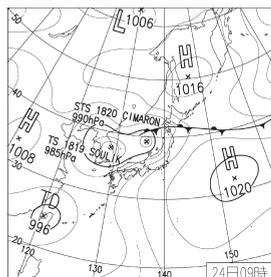
### 22日(水)台風&猛暑

台風第19号は九州の西に進み鹿児島県中之島で観測史上1位の最大瞬間風速51.4 m/s、8月1位の日降水量250.5 mm。中国、四国～東北は晴れて暑く各地で最高気温の1位を記録。



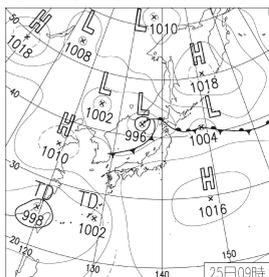
### 23日(木)北陸で初の40℃超え

台風第20号は強い勢力で徳島県南部と兵庫県姫路市付近に上陸。奈良県上北山の日降水量449 mm。和歌山県友ヶ島で52.3 m/sの最大瞬間風速。新潟県中条で最高気温40.8℃。



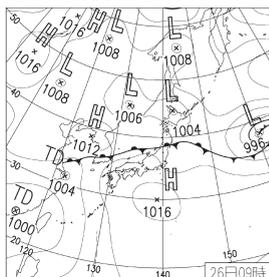
### 24日(金)台風第20号日本海へ

近畿を北上した台風第20号は未明に日本海に達し、その後北進。台風や湿った空気の影響で西日本太平洋側や東～北日本は曇りや雨。京都府京北の85.5 mm/1hは観測史上1位。



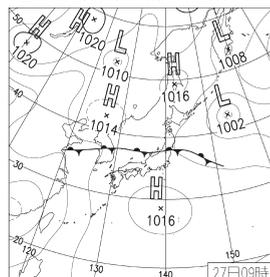
### 25日(土)西日本～東北は猛暑日

北陸～北日本は低気圧や前線の影響で雨。その他も湿った空気の流入により所々で雨。西日本～東北では日中は太平洋側を中心に晴れ。群馬県伊勢崎38.9℃など118地点で猛暑日。



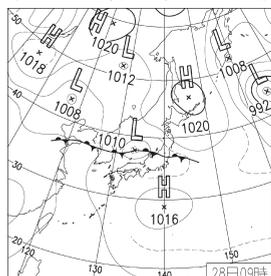
### 26日(日)猛暑続く

太平洋高気圧が西日本に張り出し九州～関東は晴れ。全国160地点で猛暑日となり、さいたまの38.7℃は8月1位更新。前線がかかる北陸や東北は曇りや雨。新潟県高田で31 mm/1h。



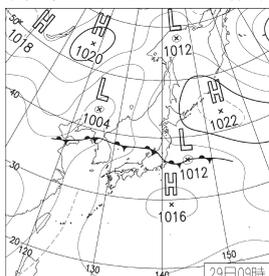
### 27日(月)北日本、気温は秋

前線南側の東北南部～九州北部では所々で雷雨。東京都練馬74.5 mm/1h。西～東日本95地点で猛暑日。一方、前線北側は気温が低く、北海道オホーツク海側の最高気温は10月並。



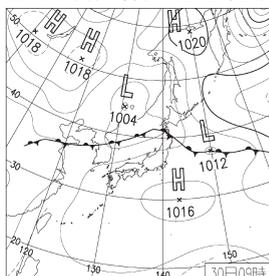
### 28日(火)台風第21号発生

暖かく湿った空気と前線により沖縄や北陸～東北中心に雨。沖縄県下地52.5 mm/1h。新潟県安塚50.5 mm/1hは8月1位。九州と西日本太平洋側～静岡県は概ね晴れ。猛暑日29地点。



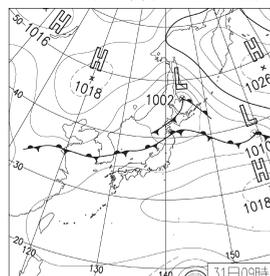
### 29日(水)西日本中心に猛暑続く

前線や湿った空気の影響で東日本～北日本は曇りや雨。沖縄～西日本は晴れたが、午後は所々で雨。京都府福知山79.5 mm/1hは史上1位を更新。西日本～東海では46地点で猛暑日。



### 30日(木)新潟県～東北で大雨

低気圧や前線の影響で北陸～北日本は雨。日降水量は新潟県粟島142 mmをはじめ岩手・秋田両県でも100 mm超。新潟県粟島で66 mm/1h。西日本の一部でも湿った空気の影響で雨。



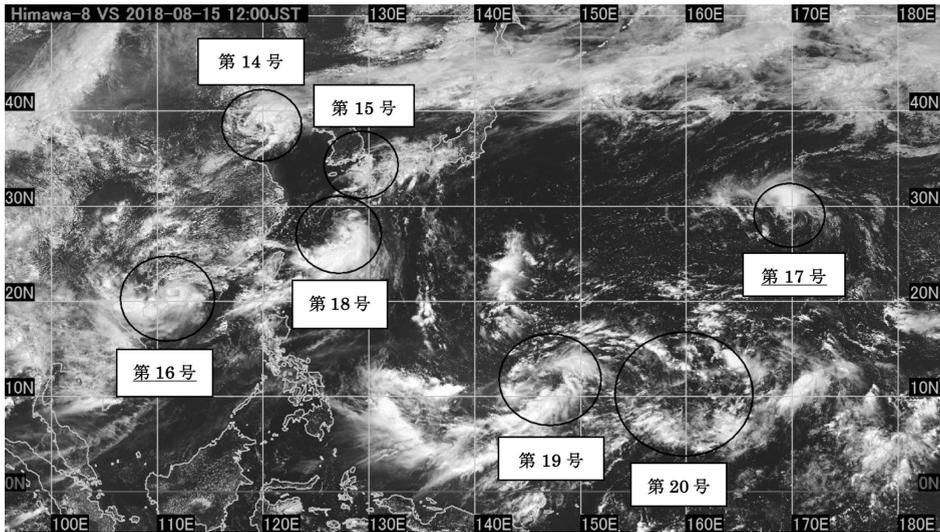
### 31日(金)前線付近で大雨

北陸～北日本は前線や低気圧により曇りや雨。北陸～東北日本海側中心に日降水量150 mm超の大雨となり石川県輪島の211.5 mmは8月1位。その他の地域も午後は不安定降水。

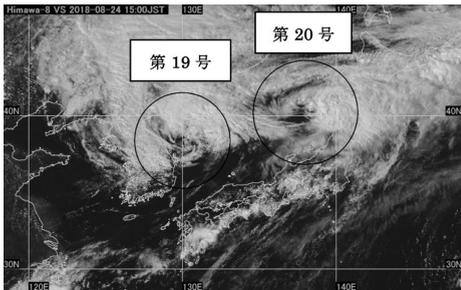


## 今月のひまわり画像—2018年8月

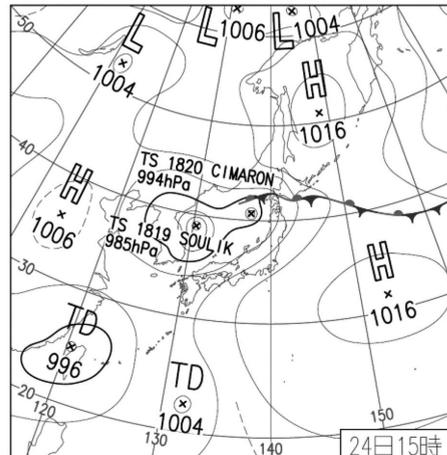
### 台風9個発生



第1図 2018年8月15日12時（日本時間）の可視画像（円は前後の期間を含めて台風第14～20号に対応する雲域を，下線はこの時刻に台風の勢力であったことを示す）。



第2図 8月24日15時の可視画像と台風第19・20号の雲域。



第3図 8月24日15時の地上天気図。

2018年8月は，台風第13～21号の9個が発生し，このうち第16～19号は，13～16日に4日連続で発生した。台風が1ヶ月に9個以上発生するのは1994年以来で，4日連続の発生は2017年の第5～8号以来となった。

第1図は2018年8月15日12時（日本時間）の可視画像である。図中の円は，第14号及び第15号は台風から衰弱した熱帯低気圧，第16号及び第17号は台風，第18号は3時間後台風に発達した熱帯低気圧，第19号は3時間後に熱帯低気圧となり，翌日09時に台風となった低圧部，第20号は3日後の21時に台風となった雲域を示す。このように次々に台風が発生した原因としては，北西太平洋では熱帯擾乱の発生を励起する偏東風波動がこの期間たびたび西進したこと，下層と上層の鉛直シアが小さかったことなどが挙げられる。

第2図は第1図の9日後の24日15時の日本付近の可視画像である。第1図の時刻にはまだ台風ではなかった第19号は，東シナ海を北上後，朝鮮半島を横断し，日本海に進んだ。また，第20号は，23日21時頃に徳島県南部に上陸後，近畿地方を縦断し，日本海を北東進した。日本海に二つの台風が存在していた（第3図）のは，1985年9月1日09時以来の非常に珍しい現象であった。

（気象庁予報部予報課 西村修司）